

耳鼻咽喉科・頭頸部外科卒後臨床研修カリキュラム

A. 一般研修目標

必修の臨床実習で修得した知識をもとに、現在、社会のニーズが急速に高まっている感覚器(聴覚、味覚、嗅覚)疾患の診断と治療について、外来診療、外科的治療などの実地臨床の経験を積む。さらに指導医の下に頭頸部外科領域の疾患の診断、治療、手術法などの経験をさらに深めるとともに、外来患者の診察に参加し、耳鼻咽喉科専門医、気管食道科専門医への道を開くとともに、他科においても役に立つような臨床を身につける。

B-1. 個別行動目標

1. 耳鼻咽喉科一般疾患の診断と治療
2. 救急外来診療
3. めまい疾患(中枢性めまいを含む)
4. 聴覚疾患(外・中・内耳疾患を含む)
5. 鼻・副鼻腔疾患(アレルギー疾患を含む)
6. 口腔・咽・喉頭疾患(嚥下障害、唾液腺疾患を含む)
7. 頭頸部腫瘍疾患(甲状腺腫瘍を含む)
8. その他希望項目

B-2. 経験すべき診察手技

1. 感覚器疾患、気道呼吸管理、摂食嚥下運動の病態の理解を深める。
2. 緊急気道確保の方法、気管切開、気管カニューレ交換の手技を修得し、気道呼吸管理について臨床に即した知識を学ぶ。
3. めまいの救急について学び、その鑑別(中枢性か末梢性)および治療法を修得する。
4. 5、6. 日常臨床においてきわめて、頻度の高い上気道感染症(中耳炎、鼻副鼻腔炎、扁桃炎、喉頭蓋炎など)とアレルギー性鼻炎について、診断と治療を修得する。
6. 嚥下運動の評価などを理解する。
7. 頸部の触診やエコー、腫瘍の穿刺細胞診による診断法を理解する。

C.週間スケジュール

8:00	9:00	昼食	午後
月	病棟・外来		病棟・総回診・術前検討会
火 勉強会	病棟・外来・検査・手術		病棟・手術
水	病棟・外来		病棟・専門外来
木	病棟・外来		病棟・外来手術・専門外来
金 病棟ミーティング	病棟・外来		病棟・手術

専門外来：中耳炎、幼児難聴、補聴器、顔面神経、味覚・嗅覚、扁桃
その他、指導医とともに週1回程度、夜間耳鼻咽喉科救急医療を経験する。